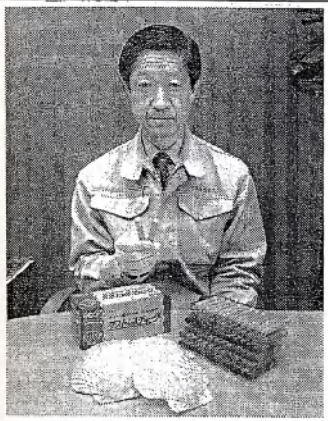
北海道新聞　2007年（平成19年）4月3日（火曜日）



道リサイクルブランド
ダストレスチョーク認定
日本理化学工業美唄工場

【美唄】チョーク製造大手・日本理化学工業（東京）の美唄工場が生産する、ホタテの貝殻を混合した「ダストレスチョーク」が、道が創設した「北海道リサイクルブランド認定制度」初の認定製品に選ばれた。

同制度は、リサイクル産業の振興と循環型社会の推進を目的に昨年七月に創設された。①優れた特性②発展、将来性③道内の廃棄物問題などの課題解決に寄与することなど五項目で評価される。道内で製造された一定の基準を満たすリサイクル製品二十三製品の応募があり、学識者などで構成する審査委員会で三製品が認定された。

ダストレスチョークは、原料の炭酸カルシウムに水産加工場から排出された ホタテの貝殻を微粉砕して10％混合したもの。滑らかな書き味で色が映え、折れにくい特徴を持つ。同社では年間五千万本生産し、全国のシェアは約30％という。

西川一仁工場長は「リサイクルを学ぶ身近な教材として役立つ。ブランドに認定されたことで、製品の良さをさらに広めていきたい」と話している。

ほかには、原油精製の副産物の硫黄を再利用した新素材「レコサール」（新日本石油・室蘭市）と、間伐材などを原料とした木質複合材「カムイウッド」（カムイ・エンジニアリング・釧路管内標茶町）が選ばれた。

（米山貴志）

「ダストレスチョーク」を手にする美唄工場の西川工場長

北海道新聞　２００７年４月３日

読売新聞（平成19年）3月28日（水曜日）

空知

北海道リサイクルブランド
ダストレスチョーク認定
美唄の工場 貝殻原料、消去性優れる

道が今年度創設した「北海道リサイクルブランド認定制度」の認定製品に、美唄市の「日本理化学工業美唄工場」の「ダストレスチョーク」が認定された。30日に道庁で認定証交付式が行われ、近藤光雄副知事から認定証が交付される。

同制度は、道内のリサイクル産業を振興し、循環型社会の形成を推進する「一環で昨年7月に創設した。ブランド製品の対象は、2004年12月に創設した循環資源を利用し、一定基準を満たしたリサイクル製品を認定する「北海道リサイクル製品認定制度」の認定製品のうち、道内で開発された技術を用い、優れた特性を持ち、市場性や将来性も高く、道内の廃棄物問題などの課題解決に寄与する」とが見込まれる製品。

初年度となる今回は、現在、道のリサイクル製品に認定されている87製品のうち、23製品から「ブランド」の申請があり、学識経験者らによる審査委員会（会長＝古市徹・北大大学院工学研究科教授）で審査し、同工場の「ダストレスチョーク」など3製品が、初の認定製品に選ばれた。

ブランドに認定された「ダストレスチョーク」は、道内の水産加工場から排出されるホタテの貝殻を原料にしたチョーク。日本工業規格（JIS）適合品で、北海道新技術・新開発品開発賞・奨励賞も受賞しており、全国の教育現場で使用されているため、環境教育にも活用が可能なことや、書き味が良く、鮮明に見えるとともに、消去性に優れていることなどが評価された。今回はこのほか、一カムイ・エンジニアリング（標茶町）の間伐材を活用した木質複合材「カムイウッド」と、新日本石油研究開発本部開発部（室蘭市）の石油精製副産物の硫黄で石炭灰などを固めた土木資材「レコサール」が認定された。

読売新聞　２００７年３月２８日